

はじめに

近年、情報技術の進展に伴う性情報の氾濫など、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化しております。そのような中であって、子どもたちには、現在及び将来の生活において直面する性に関する諸問題に対して、適切に意志決定し、行動選択できる力を身に付けていくことが一層重要となっております。

札幌市教育委員会では、性に関する指導の充実を札幌市学校教育の重点の一つに位置付け、「性教育の手引」（平成18年3月）の発行や研究指定校における実践研究などを通じて、各学校における性に関する指導が計画的に実施されるよう努めるとともに、産婦人科医師や助産師など専門的な立場の方を学校に派遣し、子ども向けの講演会を実施するなど、効果的な指導の工夫に取り組んできたところです。

しかし、現在、インターネットに起因する性的トラブルや人権尊重の精神の欠如によるデートDV、若年層のエイズ及び性感染症、人工妊娠中絶など、性に関する問題が多様化・複雑化してきていることから、性に関する指導については、より一層現状に応じた効果的なものとなるよう工夫改善を図ることが重要となっております。

このため、教育委員会では、子どもを取り巻く現代的な課題等に対応して、各学校における指導方法等の工夫改善を図ることを目的として、「性教育の手引」を改訂し、本書「性に関する指導の手引」を発行することといたしました。今回の改訂では、性に関する指導の内容を発達の段階に応じて系統的に指導することを重視し、幼稚園から高等学校までの各段階における指導の在り方を具体的に示すとともに、学校教育の重点における「豊かな心の育成」の一つに位置付けている「命を大切にす指導の充実」に関わる指導事例や、性同一性障害などの性に関する現代的な要素を反映した事例を掲載するなど、内容の充実を図っております。

各学校においては、本手引を十分に活用し、教職員の共通理解のもと、家庭や地域、関係機関との連携を図りながら、一人一人の子どもに、生命を尊重する心、自己を肯定的に受け止め自他の心と体を大切にす態度、性に関する正しい知識をもって適切に行動することができる倫理観等を培うことができるよう、性に関する指導の一層の充実に努めていただくことを期待しております。

平成28年3月

札幌市教育委員会

教育長 長岡豊彦

目次

はじめに
活用にあって

第I章 総論

1	学校における性に関する指導の意義と基本的な考え方	8
2	学校における性に関する指導	13
3	札幌市における「命を大切に作る指導」	17

第II章 発達の段階に応じた性に関する指導の目標及び指導内容

1	幼稚園・認定こども園における性に関する指導の目標及び指導内容	20
2	小学校における性に関する指導の目標及び指導内容	22
3	中学校における性に関する指導の目標及び指導内容	25
4	高等学校における性に関する指導の目標及び指導内容	27
5	障がいのある児童生徒に対する性に関する指導の目標及び指導内容	29

第III章 指導計画

1	指導計画の作成と評価	34
2	発達の段階に応じた性に関する指導の指導事項	38
3	発達の段階に応じた性に関する指導の指導計画例	
(1)	幼稚園・認定こども園における指導計画例	40
(2)	小学校における指導計画例	43
(3)	中学校における指導計画例	49
(4)	高等学校における指導計画例	52
(5)	小学校特別支援学級における指導計画例	55
(6)	中学校特別支援学級における指導計画例	56
(7)	高等支援学校における指導計画例	57

第IV章 指導事例

幼稚園・認定こども園	3～5歳児	おおきくなったよろこび（集会活動）	62
幼稚園・認定こども園	4歳児	からだクイズ わかるかな？（学級活動）	64

幼稚園・認定こども園	5歳児	いのちはいくつ? (学級活動)	66
小学校	1年生	パンツはなぜはくの (特別活動・学級活動)	70
小学校	2年生	冬も生きている (生活)	73
小学校	3年生	赤ちゃんと自分～成長の喜び～ (特別活動・学級活動)	76
小学校	3年生	男女の協力を大切に ～みんな仲良く～ (特別活動・学級活動)	79
小学校	4年生	こんにちは わたしの思春期 (体育・道徳)	82
小学校	4年生	命のバトン (特別活動・学級活動)	85
小学校	5年生	人のたんじょう (理科)	87
小学校	6年生	異性の友達 (特別活動・学級活動)	90
小学校	6年生	安全なコミュニケーション (特別活動・学級活動)	93
中学校	1年生	生殖機能の成熟 (保健体育)	96
中学校	1年生	性情報と私たち (特別活動・学級活動)	100
中学校	2年生	性の不安や悩みの解消 (特別活動・学級活動)	104
中学校	2年生	異性の理解 (道徳)	108
中学校	3年生	これからの自分 (総合的な学習の時間)	112
中学校	3年生	エイズを知り、エイズから学ぶ (道徳)	116
高等学校	1年生	「性」と「生」 (公民)	120
高等学校	2年生	人工妊娠中絶 (保健)	122
高等学校	2年生	生命と人権 (特別活動・LHR)	126
高等学校	3年生	人間と性 (特別活動・LHR)	129
高等学校	全学年	HIV/AIDS 知ろう・伝えよう (特別活動・生徒会活動)	132
特別支援学級	小学校	高学年グループ 育ちゆく体とわたし (生活単元学習)	134
特別支援学級	中学校	心の成長 (生活単元学習)	138
高等支援学校	2年生	性のトラブルを防ぐ (生活単元学習)	141

資料

平成 26 年度 札幌市研究開発事業「性に関する意識・実態調査」結果	146
人工妊娠中絶及び性感染症の罹患に関する統計資料	156
性同一性障害に関しての相談が可能な札幌市の窓口	157
引用・参考文献	158
作成委員一覧	

活用にあたって

本手引は、近年の性情報の氾濫など、子どもたちを取り巻く社会環境の大きな変化や性に関する問題の多様化を踏まえ、学校教育における性に関する指導を一層推進するために、平成18年3月に発行した「性教育の手引」を改訂し、新たに発行したものである。

各園・学校（以下「各学校」という。）においては、性に関する指導の重要性を改めて認識し、子どもの発達の段階や実態に応じて、計画的に授業実践を進める上で、以下の1～3を踏まえながら、全体計画及び年間指導計画作成の参考にするなど、本手引を十分に活用していただきたい。

- 1 各学校における性に関する指導は、子どもの発達の段階に応じ、学習指導要領等に基づいて、体育科、保健体育科、道徳、特別活動などを中心に学校の教育活動全体を通じて行うことが必要である。また、各教科等との関連を十分に配慮しながら、計画的に指導を行うことが大切である。
- 2 性に関する指導は、関連する各教科等において、性に関する科学的知識を学ばせるとともに、道徳や特別活動等において人間尊重の精神に基づいて、子どもに健全な異性観をもたせ、これに基づいた望ましい倫理観や行動を身に付けさせることが重要である。
- 3 第I章「総論」では、学校における性に関する指導の意義と基本的な考え方や目標などを示した。第II章「発達の段階に応じた性に関する指導の目標及び指導内容」では、幼稚園・認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校・学級における性に関する指導の目標と指導内容を掲載した。第III章「指導計画」では、第II章の目標と指導内容から、発達の段階に応じた指導事項を選定し、各発達の段階や各校種に必要な指導事項を示し、指導計画例を作成した。第IV章「指導事例」では、指導計画例の一部から指導事例として授業展開を具体的に示している。ワークシートや資料なども紹介し、活用しやすいように努めた。「資料」では、中・高校生の「性に関する意識・実態調査」の結果、保健福祉局からのデータ、北海道警察からのデータを掲載し、本市等における子どもの実態を把握できるようにした。